



## 町を挙げての防犯対策を

山中 博子



**町長** 広報・周知など積極的に取り組んでいるが、犯行が狂暴化しているため有効な防犯対策について速やかに検討していく



いので、準備が出来次第、補正予算で上げ実施に持っていきたい。

町長 地域の目が一番の防犯の要と考えるが、備えと一緒に町民に呼びかけ、なお一層周知徹底をできないか。

町長 地域コミュニティの強化を含め地域に働きかけていきたい。

町長 犯行を未然に防ぐためにダミーの防犯カメラ、人感センサーで作動するライトやアラーム、ガラス戸に貼るフィルムや二重の鍵の設置、忍び返しなど個人が自ら取り組める有効な防犯対策に対する購入補助、そ

して自治会と個人向け住宅の防犯カメラの設置補助はできないか。

町長 当初予算に間に合うかどうかかわからないが、早急に情報を集め形にしていきたい。

町長 防犯に関しては、一刻

を争う時期と考えるが、当初予算に間に合わない場合は補正で出すのか。

町長 当初予算に間に合えば一番良いが、いろいろな防犯対策があり、どういうことを盛り込んでいったら良いか検討しなければなら

## 町政報告会の実施を

岩田 鑑郎



**町長** 時間、場所を指定した報告会では都合のつく方に限定される。何らかの会合の際に伺い、町政の報告をさせて頂く



に取り組むべき課題の重点の意味合いについて伺う。

町長 総合振興計画の重点プロジェクトは、計画の5つの基本政策を実現するため特に重点を置く事業にひも付けられている。施政方針の7つの重点的に取り組むべき課題は、各年度における主要な施策の方向性を述べたものである。

町長 SDGs環境の推進についての取り組みは。

町長 総合振興計画の全ての基本政策において、SDGsの視点を取り入れている。CO2の削減の一つとして、「森林再生による緑の循環システムの推進」を

実施しているとのことだが、具体的にはどのような施策を展開しているか。

町長 富士見市と協定を結び森林整備を実施している。森林整備という必ず町有林の話となるが、町有林は町の森林の一部である。

町全体の森林のことを考える必要があるのでは。

町長 町における森林の整備計画を遂行する中で考える。総合振興計画後期基本計画にある重点プロジェクトと施政方針にある重点的



## 有害鳥獣対策施設とジビエへの取り組みについて

煙 豊



**町長** ジビエ肉については前向きに検討する



町長 令和6年4月からの有害鳥獣対策施設利用状況は。

町長 11月14日までに78回の利用でイノシシ31頭、ニホンジカ55頭の処理であった。

町長 近隣市町村施設等でのジビエ肉加工施設の現状は。

町長 加工肉処理施設の公的

施設はないが民間施設が埼玉県内に6か所ある。

町長 ときがわ町特産のジビエ料理等への活用は。

町長 ジビエ肉の活用については、「安全で美味しく食べられる」ことを基本に先進事例を参考にして調査研

究する。

町長 防災行政等の町の取り組みについて

町長 猛暑が続く中での当町の統一防災訓練は。

町長 今年は台風の接近のため中止となった。猛暑・大

雨の状況等を踏まえて実施時期を検討したい。

町長 9月18日の落雷で防災行政無線が使用できない状況となり仮復旧まで時間を要した理由と住民等への周知は。

町長 落雷による故障が多岐で仮復旧までに時間が掛かった。また、周知はホームページやメール等でこれから利用できない方には今後も広報車等で洩れのないように行う。

## 紙の教科書とデジタル教科書の対比について

前田 栄



**教育長** 基本的には紙の教科書を中心とし、デジタル教科書を効果的に使用している



町長 2019年、「GIGAスクール構想」が文科省から出され、デジタル教科書の利用が今年度本格導入された。

町長 教科書のデジタル化を不安視する声がある中、現在の町立小・中学校の現状

況について伺う。学習の理解や定着度は。

町長 基本的にはこれまで同様紙の教科書を中心に学習しており、デジタル教科書を効果的に使用することで、理解や定着を深める一つのツールとしている。

町長 教員のICT指導力は。図形等の変化の可視化、録画機能を活用した再確認など特性をふまえ、効果的な場面で活用をしている。

町長 学校内外の通信環境は。校内無線LAN整備完了、家庭には、貸出し可能

なモバイルWi-Fiルーターを用意している。

町長 デジタル教科書使用における、精神的・肉体的影響は。

町長 紙の教科書を中心に学習しているので、デジタル教科書の使用頻度は高くなく、児童生徒の精神的・肉体的変化等については、現在報告は受けていない。

